

SUPER FORMULA『第3回 技術セッション&おしごとセッション』 7/17 (金) 富士スピードウェイで開催

～技術セッションに STEM Racing の出展が新たに決定、出展企業・団体は過去最多の 16 に拡大～

国内最高峰のモータースポーツである全日本スーパーフォーミュラ選手権（以下「SUPER FORMULA」）を運営する株式会社日本レースプロモーション（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：上野 禎久、以下：JRP）は、今週 2026 年 7 月 17 日（金）に富士スピードウェイ（静岡県駿東郡小山町）で開催する「第3回 技術セッション」の詳細を発表しました。



技術セッションには、国際的な STEM 教育プログラム「STEM Racing」の出展が新たに決定。出展企業・団体数は過去最多となる 16 に拡大しました。

JRP は「走る実験場」と呼ばれるモータースポーツを通じて、技術革新と社会課題の解決をつなぐ"架け橋"を目指し、本イベントを開催。今回で 3 回目を迎える技術セッションでは、最先端の技術を持つ企業・団体による技術展示会と、業界の第一線で活躍する専門家による基調講演を実施します。会場には、"日本発"の次世代フォーミュラカープロトタイプ車両「JNFP-1」の展示も予定しており、国産フォーミュラの技術力を体感できる貴重な機会となります。

なお、併催の学生向けキャリアイベント「おしごとセッション」は、多数の応募により募集を締め切りました。

< イベント公式サイト >

<https://superformula.net/partner-day/tech-and-career-260717/>

< 来場申込フォーム >

<https://forms.gle/7XD3bdyCWad4djp78>

技術セッション概要

テーマは『SDV (Software Defined Vehicle)』。クルマの価値がハードウェアからソフトウェアへと広がる今、リアルタイムデータ解析、AI、通信技術、シミュレーション、車両制御など、モータースポーツの最前線で磨かれた技術は、次世代モビリティ社会の進化を支える重要な要素となっています。本セッションでは、SDV 時代を支える多様な技術・ソリューションが一堂に集結。SUPER FORMULA を"走る実験室"として、企業・研究者・学生など、さまざまな立場の参加者が交わり、新たな技術共創を生み出す場を創出します。出展企業・団体は、2026 年 6 月 29 日発表時点から増加し、STEM Racing の出展決定などにより過去最多となる 16 の企業・団体が集結します。

主催	株式会社日本レースプロモーション (JRP)
後援	一般社団法人日本自動車会議所
日時	2026 年 7 月 17 日 (金) 11:00~16:00
会場	富士スピードウェイ クリスタルルーム (静岡県駿東郡小山町)
入場	無料
来場対象	社会人、研究職、商品開発職など 約 100 名
出展企業団体	産業技術総合研究所、株式会社 cozmico、ENEOS 株式会社、GAZOO Racing、Honda、特定非営利活動法人日本自動車レース工業会 (JMIA)、日本クリンゲルンベルグ株式会社、株式会社 M-TEC (無限)、株式会社 RPV、STEM Racing Japan、タマチ工業株式会社、東京大学、トーテックアメニティ株式会社、トヨタ自動車株式会社、エクストリーム D 株式会社、横浜ゴム株式会社 (アルファベット順)

新たに出版が決定した「STEM Racing」は、6～19 歳を対象とした国際的な STEM 教育プログラムです。生徒は自らが設計・製作したミニチュアフォーミュラカーでのレースに挑戦する取り組みを通じ、エンジニアリングやチームワーク、プロジェクトマネジメントなどを実践的に学ぶことができ、世界 65 カ国以上・29,000 校以上・180 万人以上（うち 35%が女性）が参加する規模へと成長しています。

日本では一般社団法人 STEM Academy が公式ライセンスとしてプログラムを展開しています。エントリーは福井工業大学附属福井高等学校のように学校として取り組むチームからだけではなく、アメリカンスクール・イン・ジャパンの生徒で構成される「Team Hayate」をはじめとする生徒有志によるチームからも見られます。2026 年には国内大会が開催されるなど活動が本格化。国内選抜の 2 チームが、2026 年 10 月にシンガポールで開催される世界大会「STEM Racing World Finals」への出場を予定しています。なお、STEM Racing は文部科学省の後援も受けており、今後全国の学校・教育機関・企業との連携を通じて、より多くの生徒が本格的な STEM 教育に挑戦できる機会を広げていくことを期待されています。

また、モータースポーツを入口に次世代のエンジニアやイノベーション人材を育成するという STEM Racing の理念は、JRP が推進する「SUPER FORMULA NEXT50」における人材育成のテーマとも高い親和性を持っており、今回の技術セッションへの出版を通じて、その活動が広く紹介されます。



基調講演（4 件、順不同）

特定非営利活動法人日本自動車 レース工業会（JMIA）	国産フォーミュラの挑戦と現在地
トヨタ自動車株式会社	RAMN：グローバルセキュリティコミュニティを活かした、自動車セキュリティ教育プラットフォーム
本田技研工業株式会社	二輪×コネクティッドへの挑戦最前線
GAZOO Racing	GR におけるモータースポーツ現場の困りごと解消に向けたソフトウェアでの取り組み

※出展企業・団体、講演内容は、予告なく変更・追加になる場合がございます。

現在、イベント公式サイトにて最新情報を公開しております。技術セッションへのご来場は、上記フォームまたは公式サイトよりお申込みください。

■株式会社日本レースプロモーション（JRP）について < <https://superformula.net/sf3/> >

JRP は国内最高峰で最速のフォーミュラカーレースシリーズである全日本スーパーフォーミュラ選手権を運営しています。2022 年にはサステナブルなモータースポーツ業界づくりを目的として「SUPER FORMULA NEXT50」プロジェクトを発足し、カーボンニュートラルに向けた取り組みとモータースポーツのデジタル化に向けたさまざまな取り組みを展開しています。

【報道・メディア関係者からのお問い合わせ先】

株式会社日本レースプロモーション 総合企画部 広報渉外 G TEL. 03-5801-6470 E-mail. miura@jrp-inc.net
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-28-5 axle 御茶ノ水 3F-304